

行動する知事会 × 農林商工常任委員会

1. 取組のイメージ

①47都道府県による政策形成

- ・共通の課題に対し、47の多様なプレーヤーが色々な考え方や施策を持ち寄り、有効性のある施策を立案

全国知事会 (プラットフォーム)

③成果をもって国に提言

- ・ファクトベース(得られた成果や課題)の効果的な提案

②各都道府県での施策展開

- ・成果を出す
- ・課題・支障事例の抽出

2. アクションプラン(案)

①【テーマ選定・参加意向照会】

>>> 令和元年8月中

- ・投票によって取り組むテーマの選定 (⇒47都道府県)
 テーマ(候補案)①中小企業の事業承継の促進
 ②スマート農業の推進
- ・選定されたテーマを議論するWTへの参加意向照会 (⇒47都道府県)

②【先進・優良等事例の収集】

>>> 令和元年9月中

- ・先進・優良等事例の収集 (⇒47都道府県)
 各都道府県で既に成果が出ている先進・優良事例とともに、チャレンジングな取組で成果を出す途上にある事例も広く対象とする。
- ・現状・課題の把握 (⇒WT参加都道府県)
 選定したテーマに係る参加県の現状・課題を把握する

③【現状分析・課題の共有・対応策の検討(WTでの議論)】 >>> 令和元年10月～11月

- ・先進・優良事例の要因分析やWT参加都道府県の現状分析を踏まえ、共通する課題や目指す姿をWT会議で議論し、必要に応じてKPIを設定する
 (⇒WT参加都道府県)

- ・WTの議論を取りまとめ、農林商工常任委員会に報告

- (例)①各都道府県の先進・優良等事例
- ②WTで議論したテーマに係る現状・課題
- ③課題に対する対応策

※対応策は一つに限定することなく、状況に応じて、短期的・中長期的な対応を区分して打ち出すことも想定

④【施策展開】

>>> 令和元年12月～

- ・早期に開始できるものについては、随時取組をスタート
- ・WT参加都道府県における予算措置(予算化が必要なもの)
- ・最短で令和2年度からの施策展開を想定
- ・施策展開にあたっては、③の分析に基づき、WT参加都道府県で同じ取組を実施するだけでなく、WTの議論で共有した課題に対して、各団体のアレンジを加えて実施することも想定
- ・取組の成果等を各都道府県にフィードバック
- ・国に求めるべき法制度や財政措置に係る課題を抽出

⑤【国への提言】

>>> 令和2年夏以降

- ・WTでの議論や具体の取組を踏まえ、エビデンスに基づいた国への提言を取りまとめる
- ・具体の取組に係る成果や課題を基に提言を作成